

③ 後期高齢者って何だ!

来年4月から「後期高齢者医療制度」がスタートします。後期高齢者というのは75歳以上のお年寄りのことです。最初、「後期高齢者」という言葉を聞いた時、「何だそりゃ!」と思いました。誰が決めたかは知りませんが、高齢者を前期だとか後期だとかに分けるセンスを疑います。このシステムが機能しはじめると日本全国で「あたりは前期よ」とか「俺はもう後期だ」とかいう会話がされるようになるのでしょうか。この制度が恐ろしいのは、75歳以上のお年寄り全員、年金天引きで介護保険料と一緒に「後期高齢者医療保険料」が徴収されるということです。その金額は都道府県単位で決まるというのですが、その平均は6200円。すでに年金から天引きされている介護保険料と合わせると、月10000円以上の保険料が年金から自動的に引き落とすとされます。しかも、滞納すれば直ぐに「資格証明証」を発行して、保険証を取り上げてしまうというのだから、どうしようもありません。

資格証明証

「資格証明証」と聞くと、何かの証明書かと思ってしまうのですが、要するに病院の窓口では10割を負担し、保険料を払ったら7割は戻しますよという証明です。保険料が払えない人には「貧乏人は10割払え!」とっているだけのことなのです。そんな証明いいますか? 現在22もある大型事業を中止・凍結すれば、お年寄りの方達を助成することはできます。今のままの「道路」観光路線では、新座市は破綻に向かって走っているだけ。そろそろ舵の方向を変えないと大変なことになります。新座の借金は800億近いのです。

たかむら ともや の連絡先

〒352-0033 新座市石神 3-19-32-106

自宅 042-456-8860

携帯 090-6497-5737

一生
懸命

そんな改革は止めない!

小泉 安倍と続いた「改革」美しい国」路線は、国民の生命線をぶっ壊してしまったのだと思います。

税金の無駄遣いにはなかなかメスが入らず、市民からはふんだくる。そんな改革は止めないといけません。10月1日からの「郵政民営化」だって、国民の生活にプラスになるとは思えません。新座市も土地開発公社の健全化計画が進んでいますが、要は土地開発公社が取得してしまった土地を市が買い戻している。それだけのことです。53億の「東久留米・志木線」には随分反対してきましたが、もう後戻りはできない状態まで来てしまいました。市長にも賛成してきた議員にも責任を取って欲しいですね。



叔母、叔父そして母(右端)

たかやんのプロフィール

1954年、東京都新宿区生まれ。都立石神井高校を経て北海道大学へ。大学3年の時、朝日新聞の「今学校で!」を読み、教師になることを決意する。1977年新座五中に赴任。五中で10年、六中で10年、二中で1年、計21年間を子ども達と一緒に生き、授業に、クラスに、そしてテニスに燃える。2000年2月、市議会議員選挙に立候補。9768円で戦い次点となる。2004年2月の選挙でも、お金をかけずに戦い1272票で初当選。小中学生と共に歩みながら「教育問題」「財政問題」を中心に発言を続けている。石神3丁目在住。